

平成 29 年度 横浜こども科学館事業計画書

1. 平成 29 年度基本方針

横浜こども科学館は、青少年の科学に関する知識を啓発し、創造性豊かな青少年の育成に寄与するために「横浜こども科学館条例」「横浜こども科学館条例施行規則」を遵守し、「横浜市子ども・子育て支援事業計画」を支援し、あらゆる世代に向けた情報発信と科学に関する拠点の役割を担います。日本で最大の政令指定都市の科学館として「みつける科学館」「つなぐ科学館」「あつまる科学館」を旗印に掲げ日本一の政令指定都市「横浜」にふさわしい日本一の科学館を目指します。

(1) 「みつける科学館」

子どもたちに科学の分野での三つの心・センスとして「知りたい心」(好奇心)「挑みたい心」(冒険心)「創りたい心」(匠の心)の萌芽を発見するチャンスを提供します。科学館で出会うさまざまな展示物、科学・工作教室、催しを通じて子どもたちが「センス」に気づくためよう助役に努めます。

(2) 「つなぐ科学館」

「子ども」と「科学」をキーワードの中核に据えて、家族・家庭と学校・地域に日常的なつながりを創りあげます。科学館は子どもたち自身が抱く疑問を懸け橋とする知的なネットワーク構築のお手伝いを一生懸命に行います。

(3) 「あつまる科学館」

横浜市の地域の力、学校の力、家庭の力によって未来から預かった大切な子どもたちを育てる恵まれた環境が科学館には結集しています。それらの横浜の街づくりの力が「あつまる場」として機能して行きます。

2. 事業計画

(1) 事業実施計画

「より広く・より深く」をテーマに科学体験の普及・振興に貢献します。

① 科学技術に関する専門知識や最新情報イベントの開催

協力関係にある機関 (JAXA 等) の方々を招聘し子どもたちと直接会話をしてもらう機会をつくります。

② 科学に関する体験講座や教室の開催

物理、化学、生物、地学の領域ごとの体験講座や教室を開催します。

③ 出前教室の開催

プログラムの充実を図り集客対象を広げていきます。

④ プラネタリウムを使用したイベントの開催

星に関する知識を得て本ものの天文学を学ぶきっかけになるようなイベントを開催します。

⑤ メディアとの連携

科学の普及のため、従来以上にメディアと連携した広報活動を強化します。

(2) 計画的な事業展開

ソフト・ハードの両面の充実をはかります。

① 常設展示

4F にリニューアル展示物を設置します。(5月 無限トンネル、握手ミラー、9月 光のハーブ)
各展示物の解説サインを見直し理解度の向上を後押しします。

② 企画展

春休み「幼児」GW「ファミリー」、夏休み「自由研究」、冬休み「学術」などをテーマに開催します。

③ プラネタリウムの番組制作と投影

子どもたちが天文学を学ぶきっかけになるような番組制作と投影を行います。

④ 科学に関する体験講座や教室などの拡充

平成 29 年度は開催回数 1,100 回、参加人数 19,000 名の参加を目指します。

⑤ 図書館

最新情報、新発見など科学に関する書籍・雑誌を幅広く取り揃えます。

⑥ 教育機関や他の青少年施設との連携事業

横浜市小学校理科研究会、横浜市幼稚園協会、横浜市内青少年施設などと連携事業を開催します。

⑦ 教育機関や他の青少年施設との連携事業

連携機関（JAXA等）から定期的に最新情報を入手し情報提供を行います。

⑧ 他施設のイベント、科学体験プログラムの情報収集と提供

自然科学領域施設と相互にイベントチラシなどの配架を行います。

(3) 利用者サービスの向上

来館者目線で展示物の改善を進め、充実した設備の中で学べる環境をつくりま

① 待ち時間の改善

平成 28 年度に引き続き待ち時間の短縮に努めます。

② 展示フロアの改修及び照明、レイアウト・サイン計画・展示物解説の見直しを行います。

説明文に統一性を持たせ、より理解を深め新しい学びのきっかけをつくりま

③ 展示フロア解説の実施

ボランティア会の協力により実施します。

④ 来館者の声を現場に反映する仕組みを作ります。

要望や苦情を現場運営に反映させサービスの向上やより快適な環境を提供しま

⑤ 広報活動・利用促進

来館者満足度を向上させ、来館者の利用動機の幅を広げていきます。

他都市への利用促進及び広報を行います。

正月（1月2日～）の開館による利用者増を計ります。

(4) 地域や他機関等との連携・協働

わたしの街の科学館を目指します。

①地域行政（地元自治会等）と連携・協働し、事業の開催・参加を強化します。
洋光台サイエンスクラブ等の内容の充実を図り地域活性へ積極的に参加します。

②ボランティア会の活動を強化します。
単なる「参加の場」にとどまらず、知的レベルの非常に高いボランティアの経験・知識をフルに発揮していただく教室等を実施し参加者の学び、成長に結びつけます。

③学校、青少年関係団体や企業等との連携・協働を強化します。
横浜市教育委員会、横浜市小学校理科研究会などとの連携を強化します。

④ネーミングライツスポンサーとの連携を強化します。
「科学館の応援団」として様々な場面でバックアップをしていただきます。

3. 管理運営計画

これまでの経験とノウハウを活かして「日本一の科学館」を目指します。

(1) 運営体制

経験豊富な職員に加えて、あらたに学術顧問をお迎えして、企画内容の充実を図ります。

①サイエンスコミュニケーターの育成・スキルアップに努めます。
外部研修等へ積極的参加しネットワークの構築や、情報収集を行います。

(2) 収支計画

①入館者・入場者の増と事業の拡大により増収を目指します。
新規事業の実施等により増収を図ります。

②無駄な支出の抑制をします。
日常の工夫、LEDの導入等により削減を図ります。

(3) 施設の維持管理

戦略的維持管理の実践を通じて、安心・安全・快適な施設環境を実現します。

①施設長寿命化への取組を強化します。
予防保全の視点に立った小破修繕工事を実施します。

②省エネルギーへの取組を強化します。
横浜市、ESCO事業者との連携によるトータルなエネルギー管理を行います。

③確実な維持管理業務を実践します。
関係法令や業務仕様書を順守した業務を行います。

(4) モニタリング

PDCA サイクルを強化し、来館者の声を実現します。

①利用者モニタリング、利用者アンケートを実施します。

教室、イベント実施時にお客様の声を直接うかがい、以後の企画に反映させます。

②セルフモニタリングを実施します。

各種モニタリング指標を統計・分析し次年度の事業計画などに反映させます。

以 上

平成29年度 「横浜こども科学館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	201,846,880		201,846,880		201,846,880	横浜市より
利用料金収入	120,000,000		120,000,000		120,000,000	
自主事業収入	76,000,000		76,000,000		76,000,000	
駐車場収入	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
収入合計	398,846,880	0	398,846,880	0	398,846,880	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	150,020,000	0	150,020,000	0	150,020,000	
給与・賃金	150,020,000		150,020,000		150,020,000	福利厚生費、社会保険料、通勤手当等含む
事務費	43,496,880	0	43,496,880	0	43,496,880	
旅費	400,000		400,000		400,000	
消耗品費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
会議賄い費			0		0	
広報費(媒体への掲載等)	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
印刷製本費	6,500,000		6,500,000		6,500,000	
通信費	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
使用料及び賃借料	8,840,000	0	8,840,000	0	8,840,000	
横浜市への支払分	5,200,000		5,200,000		5,200,000	
その他	3,640,000		3,640,000		3,640,000	
備品購入費	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
委託費	11,100,000		11,100,000		11,100,000	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	
職員等研修費	500,000		500,000		500,000	
ボランティア経費	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
アドバイザーボード開催費	100,000		100,000		100,000	
謝金	100,000		100,000		100,000	
その他	356,880		356,880		356,880	
事業費	89,700,000	0	89,700,000	0	89,700,000	
教室事業	6,000,000		6,000,000		6,000,000	
企画事業	14,000,000		14,000,000		14,000,000	
屋外駐車場	6,200,000		6,200,000		6,200,000	
目的外事業	28,000,000		28,000,000		28,000,000	
展示費	15,000,000		15,000,000		15,000,000	
宇宙劇場費	20,500,000		20,500,000		20,500,000	
管理費	76,230,000	0	76,230,000	0	76,230,000	
光熱水費	17,500,000		17,500,000		17,500,000	
設備管理費・清掃費	37,200,000		37,200,000		37,200,000	
修繕費	9,600,000		9,600,000		9,600,000	
保安警備費	10,900,000		10,900,000		10,900,000	
外溝・植栽管理費	1,030,000		1,030,000		1,030,000	
公租公課	12,400,000	0	12,400,000	0	12,400,000	
消費税	12,000,000		12,000,000		12,000,000	
印紙税	400,000		400,000		400,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	27,000,000	0	27,000,000	0	27,000,000	
一般管理費	27,000,000		27,000,000		27,000,000	
支出合計	398,846,880	0	398,846,880	0	398,846,880	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	76,000,000		76,000,000	0	76,000,000	
自主事業費支出	59,400,000		59,400,000	0	59,400,000	
自主事業収支	16,600,000		16,600,000	0	16,600,000	
管理許可・目的外使用許可収入	36,000,000		36,000,000	0	36,000,000	
管理許可・目的外使用許可支出	2,510,000		2,510,000	0	2,510,000	
管理許可・目的外使用許可収支	33,490,000		33,490,000	0	33,490,000	

平成29年度 横浜こども科学館 小破修繕計画

※基本協定書第22条に基づく施設の修繕

NO.	工事名	概算金額	理由	修繕内容	予定時期	備考
1	照明器具修繕工事	200,000 (100,000×2箇所)	安定器不良による不点灯器具の修繕を行い照明の確保	照明器具取替(取替工事に高所足場必要)	6月	場所:1F 足場:単管組み立て・高所作業車
2	外灯他ランプ取替修繕工事	150,000 (50,000×3回)	不点灯時の外灯水銀ランプの取替による照明の確保	外灯水銀ランプ不点灯(取替工事に高所足場必要)	ランプ切れ時	足場:高所作業車による
3	防災設備修繕工事	600,000 (300,000×2回)	誘導灯・非常灯・ポンプ・ダンパー不具合の取替え	設備点検時の指摘による不具合解消(取替え等)工事	点検後 (6・1月頃)	2回/年の点検時の不具合解消
4	空調設備修繕工事(1)	400,000 (200,000×2回)	ポンプ・制御盤内の継電器不具合の取替え	設備点検時の指摘による不具合解消(取替え等)工事	点検後 (6・1月頃)	2回/年の点検時の不具合解消
5	空調設備修繕工事(2)	500,000	冷温水ポンプ故障による取替え	設備点検時の指摘による不具合解消(取替え等)工事	6・1月	前回点検後の取替え提案
6	壁・扉からの雨漏り修繕工事	400,000 (200,000×2回)	台風等の暴風雨時に部分的な雨漏れ発生	壁面の亀裂等の防水・扉の隙間シーリング	7・11月	2F非常口・4F展示室・2F研修室・全熱空調室
7	衛生設備修繕工事(1)	550,000	汚水・雑排水ポンプ点検結果及び経年30年のため老朽化しているため順次取替える	各種ポンプの交換	点検後 (11・3月)	2回/年の点検時の不具合解消。常用・予備の交互運転のため2台を交換する
8	衛生設備修繕工事(2)	200,000	便器の詰まり・手洗い配管等の修理	便器点検調整・配管取替え等	発生の都度	緊急対応対象工事
9	建物設備修繕工事	600,000	老朽化による部品交換	駐車場シャッター部品交換	4月	
合計		3,600,000				

●長期修繕計画 (横浜市記入欄)

	工事名	見積金額	理由	改修内容	備考
29 年度					
30 年度					